

2016年1月29日

金融庁
日本銀行

2015年度金融知識普及功績者表彰について

本日、金融庁と日本銀行では、「2015年度金融知識普及功績者」として、個人の部19名、団体の部3団体を表彰することとしました。

金融知識普及功績者表彰は、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して、その功績を顕彰するものです。

表彰の対象となる者及び団体には、金融担当大臣及び日本銀行総裁の連名による表彰状等を授与します。表彰状等の伝達は、後日、全国の都道府県において行います。

お問い合わせ先

金融庁 Tel : 03-3506-6000(代表)

総務企画局政策課

(内線 2793、3710)

日本銀行 Tel : 03-3279-1111(代表)

情報サービス局

(内線 4710)

2015年度金融知識普及功績者一覧

〔個人の部〕

1. 横井 規子
(北海道)
 - ・ 小学校の家庭教育学級等において、「お金の使い方」や「おこづかい帳の書き方」等をテーマに、シミュレーションゲームを使用した出前授業を積極的に行うほか、地元紙でコラムを執筆するなど、金融知識の普及に貢献。
2. 横江 光良
(北海道)
 - ・ 「ライフデザイン・ライフプラン」、「公的年金の基礎知識と資産運用」、「役立つ金融経済の話」といった多岐にわたるテーマについて、中立的な視点から分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
3. 岡嶋 宏明
(北海道)
 - ・ 「生活設計」、「金融商品」、「社会保険・年金」、「資産運用」といった幅広いテーマについて丁寧で分かり易い講演を行うほか、地元紙でコラムを執筆するなど、金融知識の普及に貢献。
4. 有田 宏
(北海道)
 - ・ FPとしての知識と経験を活かし、「金融経済」のテーマを中心に、その時々話題を織り交ぜた講演に取り組むほか、「相続」、「年金」等のテーマについての講演も積極的に行うなど、金融知識の普及に貢献。
5. 齋藤 廣勝
(秋田県)
 - ・ FPとしての知識と経験を活かし、高校生から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、それぞれの年代や地域の特性を踏まえた講演を行うほか、地元情報誌でコラムを執筆するなど、金融知識の普及に貢献。
6. 坂井 義明
(福島県)
 - ・ 司法書士としての知識と経験を活かし、「相続」、「遺言」、「成年後見人制度」等をテーマに講演を行うほか、「消費者トラブル」等について幅広い層を対象に講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
7. 緒方 瑠美子
(茨城県)
 - ・ 消費生活相談員として培った経験等を活かし、児童・生徒や金融学習グループ等を対象に、「消費者トラブル」、「子どもの金銭教育」等をテーマとして、DVD等を活用した分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
8. 佐藤 実
(栃木県)
 - ・ 児童・生徒やその保護者を対象とした出前授業に積極的に取り組み、子ども達が主体的に授業に参加し、考えることができるよう工夫を凝らすほか、一般市民向けに「ライフプラン」、「金融経済」等をテーマに講演も行うなど、金融知識の普及に貢献。
9. 山崎 二郎
(千葉県)
 - ・ 中学校社会科教員を対象とした金融教育セミナーや消費者教育セミナーにおいて講師として活躍するなど、長年にわたって学校等における金融教育の推進に関与し、金融知識の普及に貢献。

10. 音川 敏枝
(東京都)
 - ・ FPとしての知識と経験を活かし、「年金制度」、「生活設計」を中心に幅広いテーマについて自ら工夫した資料を使った講演を行うほか、社会復帰支援の一環として、矯正施設での金融教育啓発活動にも取り組むなど、金融知識の普及に貢献。
11. 樋口 勝彦
(山梨県)
 - ・ 元教員の経験を活かし、主に高校生を対象に、巣立ち教室では「契約」、「クレジット」、「多重債務」等をテーマに、消費者教育講座では「生活設計」をテーマに、分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
12. 小山 正宏
(石川県)
 - ・ 老後の充実した生活に向けて「60才からの人生とお金」をテーマとした高齢者向け講演に積極的に取り組んでいるほか、元金融機関職員の経験を活かし、大学生等を対象に「保険」をテーマとした講演も行うなど、金融知識の普及に貢献。
13. 生川 奈美子
(三重県)
 - ・ 主に児童・生徒を対象に、自らの子育て体験等を交えながら、「おこづかい」等をテーマとした講演を積極的に行うほか、インターネットやスマートフォンに係るトラブルに関する講演にも取り組むなど、金融知識の普及に貢献。
14. 大石 美津子
(静岡県)
 - ・ 小学生から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、「お金の使い方」、「キャッシュレス時代の家計管理」、「老後の生活設計」等をテーマに、受講者の年齢層や関心に合わせて分かり易い講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
15. 加藤 範子
(島根県)
 - ・ FPとしての知識と経験を活かし、小学生から大学生までを対象に、子ども達の発達段階に合わせて創意工夫に富んだ出前授業を行うほか、金銭・金融教育研究校への助言も行うなど、金融知識の普及に貢献。
16. 小松 むつ子
(高知県)
 - ・ 小学生から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、「お金の使い方」や「老後を楽しく生きるために」等をテーマとして、ゲームや紙芝居等を活用した講演を行うなど、金融知識の普及に貢献。
17. 安枝 昭雄
(福岡県)
 - ・ 「金融経済」、「生活設計(エンディングノート)」等をテーマに、受講者の年齢層や関心に合わせて独自に工夫した資料を用いて講演を行うほか、金融学習グループの支援にも尽力するなど、金融知識の普及に貢献。
18. 坂口 真理
(熊本県)
 - ・ 消費生活相談員として培った経験等を活かし、高校生から高齢者までの幅広い年齢層を対象に、「消費者トラブル」をテーマとした講演を行うほか、特別支援学校向けの出前授業では、受講者に対応した教材の工夫に取り組むなど、金融知識の普及に貢献。
19. 村上 美佳子
(大分県)
 - ・ 消費生活相談員として培った経験等を活かし、幅広い年齢層を対象に、「消費者トラブル」をテーマとした講演を行うほか、消費生活相談員による劇団を結成し、自作の脚本による寸劇にも取り組むなど、金融知識の普及に貢献。

〔団体の部〕

1. 山梨県立塩山高等学校
(山梨県)
 - ・ 全学年・全教科において金融経済教育を教科指導に積極的に取り入れ、体験学習や講演会等を活発に実施するなど、金融経済に関する基礎知識の習得、勤労観の育成、ライフプランの重要性に関する理解の向上などに取り組み、金融知識の普及・向上において着実に成果をあげている。

2. 石川県立金沢商業高等学校
(石川県)
 - ・ 独自科目としての「金融」開設、外部講師による講演会、地元企業等での長期就業体験、模擬株式会社の運営等、商業教育を基盤とした金融経済教育の実践を通じて、金融経済に関する基礎知識の習得、勤労観の育成などに取り組み、金融知識の普及・向上において着実に成果をあげている。

3. 松山市立新玉小学校
(愛媛県)
 - ・ 金融教育に視点をおいた教科指導や各種行事(全教員による研究授業、全校的な社会貢献活動等)の実施を通じて、お金の大切さや役割についての学習を推進するなど、金融経済に関する基礎知識の習得、社会観の育成などに取り組み、金融知識の普及・向上において着実に成果をあげている。